

## 終了報告書&lt;短期プログラム(3か月未満)用&gt;

報告年月日 2017 年 8 月 5 日

留学プログラム名	リンシェービン大学 サマープログラム
所属学院等 (学院/類/学部/研究科)	環境・社会理工学院 土木・環境工学系
所属系・コース等 (系・コース/学科/専攻)	都市・環境学コース 修士2年

留学先国	スウェーデン	
留学先大学等	リンシェービン大学	
留学期間	プログラム期間:	2017年7月3日～2017年7月28日
	実際滞在期間:	2017年7月1日～2017年7月29日

## 報告書について

- 上記内容に加え、**下記の①～⑪の内容についても併せて**提出すること。別ファイルでも、この報告書の下に書き続けても構わない。ただし、①～⑪の各項目がわかるようにすること。また、公開してもよい写真がある場合は、①～⑪の各項目の中に貼付することが望ましい。
- 提出先:各プログラム担当部署 (word ファイルで提出すること。)

## 報告事項

## ① 留学先(参加プログラム/受入れ機関)の概略

リンシェービン大学のサマープログラムに参加した。コースは Academic English で主に論文の書き方を中心に学習するが、基礎的な文法やプレゼンの講義もあるので幅広く学ぶことができる。

## ② 留学前の準備

留学情報の入手方法、専門分野・語学の準備方法、留学先の研究室に所属した場合は、留学先大学の指導教員との準備、ビザ取得方法、住居の探し方など。

留学情報はすべて東工大の留学課から出されたもので知った。他のコースは専門性が要求されるが、このコースに限れば、英語を学ぶ意思のあるものなら全員が参加できるのでお勧めである。講義内容な教科書を指定のもの2冊を購入してそれを中心に行った。留学先大学との連絡は基本的にサイト専用サイトに登録しておこなった。直前期は直接メールが来て、お金の振り込みなど行った。寮のあっせんは充実しており、希望を言えば全員が入居できる。ビザは不要。

### ③ 留学中の活動及び感想

通常の活動以外に行った活動がある場合は、併せて記入してください。

大学側がレクリエーションとしてほぼ毎日イベントをセットしてくれる。郊外への旅行や、料理持ち寄りパーティーなど。自分の都合に合わせて好きなものに参加できるので、勉強以外にも友達と触れ合ったり、スウェーデンの文化を知る機会を与えてくれる。

### ④ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

他国の学生等との交流、海外における勉学・研究等の学校生活や日常生活を経験して、自身の成長を実感したことと思います。留学前に立てていた目標に対する達成度や苦労話など、何でも結構ですので、自身の成長を実感した中で一番記憶に残っているエピソードを記入して下さい。

もともと英語が苦手で参加したプログラムで、あまり英会話の経験もなく始めはとても苦労しました。そのため勉強以外のイベントで積極的に英語を話すことで、英語に触れる機会を増やすようにしていました。英語が得意な人が多く、ディスカッションでは全く役に立たなかったことを痛感し、後悔しています。はじめは、課題の内容を理解することも困難でしたが、日本人がいなかったことも幸いしてわからなくても友達(外国人)に聞くしかなく、くらいついて英語を学びました。その成果もあって、最後の方は講義内容も大方つかめるようになり、参加してよかったと強く思っています。

### ⑤ 留学費用

渡航費、プログラム参加費、生活費、住居費、保険料、奨学金の有無など。

全体で8万円の援助を受けることができました。渡航費や生活費を考えると十分といえる金額ではありませんが、まったく援助がなかったら参加することも難しかったと思うのでとても感謝しています。

費用としては渡航費13万程度、プログラム参加費0円、寮費6万円、保険料1万円程度に加えて食費や余暇への費用となると思います。

## ⑥ 留学先での住居

住居(寮、ホームステイ等)、申し込み方法、ルームメイト、その他。

寮を、プログラム申し込み時に申し込むことができます。一人部屋や二人部屋か選択でき、私は一人部屋を選択しました。友達と参加する人以外はたいてい1人部屋だったようです。一人部屋でも同じコリドーの人とキッチンを共有するので友達もできます。プログラム参加者は大体近くに住んでいるので、夕ご飯を一緒にするなど良い経験ができると思います。

## ⑦ 留学先での語学状況

例えば、留学期間中は〇〇語を使用。留学前の TOEFL 等語学試験は、〇〇だったが、十分であったなど。

もちろんスウェーデンの母国語はスウェーデン語ですが、私はこんにちにはしか使いませんでした。サマープログラムなので、基本的にスウェーデン人以外なので、とにかく英語のスキルが大切です。私は英会話の経験が少なく大変苦労しました。読み書きも大事ですが、英会話を勉強してから行くことをお勧めします。

## ⑧ 単位認定(互換)

留学中に取得した単位の認定(互換)を東工大で行ったか(行う予定か)。

行います。

## ⑨ 留学経験を今後、どのように活かしたいか

私はもともと英語自体に興味があるというよりは、英語の論文の理解度を高め、国際学会などに出たいという思いで参加しました。その上で、日本人がいない環境で、1人で課題に取り組まなければならない状況は大変良い刺激になったと思います。

## ⑩ 留学先で困ったこと(もしあれば)

寮に有線しかないため、ケータイを使うためにはルーターを持っていくと便利だと思います。

## ⑪ 留学を希望する後輩へアドバイス

このプログラムは時期の問題もあり、日本人参加者はほとんどいません。私の参加した年は私を含め2人でした。そのため、困ったことがあっても全部英語で対処しなければならず、それなりに苦労します。しかし、甘えが聞かない状況なので、とても良い経験にはなると思います。大学側もたくさんのイベントを用意してくれて、実りが多いと思います。このプログラムの意義を高めるためにも英語能力を高めてから望むことをお勧めします。